事業シート（令和9年度予算）

事業名	41510　アスベスト対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント				
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
担当課	都市政策部　建築住宅課	内線	2318		目	5	生活環境費			施策分野	(3)	住宅・公園・景観		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・アスベストの飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る。	概要	・アスベスト含有調査費に対する助成 ・アスベスト除去工事費に対する助成 ・調査、除却に向けた啓発活動

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		4,500	1,973	4,500			
特定財源	国費（　アスベスト対策事業費　1/3、10/10　）	2,500	1,074	2,500			
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		2,000	899	2,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	アスベスト含有調査事業補助金	500	260	500			
	アスベスト除去等事業補助金	4,000	1,713	4,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	4,500 増減 (d)-(c)
4,500			0
2,500			0
2,000			0

要求額	説明
500	
4,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・助成件数 アスベスト含有調査事業補助金　2件 アスベスト除去等事業補助金　1件 ・制度周知 広報たかやまへ助成制度を掲載	
評価等	・市民の健康被害の予防、生活環境の保全が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載や含有施設所有者、関係団体への説明等積極的なPRを行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74105　建築政策推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
担当課	都市政策部　建築住宅課	内線	2318		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	1	都市計画総務費			施策分野	(3)	住宅・公園・景観		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・安全・快適な市有建築物を整備する。 ・秩序ある土地利用の推進により、都市の健全な発展を図る。 ・建築基準法、建設リサイクル法、省エネ法等の適正な運用により良好な居住環境を整備する。	概要	・公共建築工事に係る設計及び監理を実施 ・特殊建築物の定期調査を実施 ・都市計画制度の活用等により土地利用の規制、誘導を図るとともに、まちづくりに関する計画及び指針に適合するよう、必要な指導や助言を行う。 ・建築確認及び各届出による審査 ・伝統的な技法による建造物修景工事等に対する助成 ・大規模盛土造成地の防災対策

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		27,168	22,082	27,589			
特定財源	国費（　宅地耐震化推進事業費　1/3　）	3,333	2,693	830			
	県費（　県移譲事務交付金、土地利用規制対策費　）	30	741	258			
	その他（　建築申請・開発許可手数料、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等　）	11,000	10,380	1,000			
一般財源		12,805	8,268	25,501			
新規・拡充	主な事業内容						
	美しい景観と潤いのあるまちづくり審議会	342	146	342			
	市有建築物の改築・改修等に係る設計	0	0	1,000			
	伝統的大工技術等継承に対する助成	15,700	13,573	16,500			
	特殊建築物定期調査報告			6,000			
○	大規模盛土造成地の分類・地盤調査	10,000	7,515	2,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 増減 (d)-(c)
			23,200
50,454			22,865
6,256			5,426
30			△ 228
1,000			0
43,168			17,667
要求額	説明		
342			
1,000			
18,000			
11,000			
18,770			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・建築確認申請0件、位置指定道路4件、都市計画法53条許可申請1件 ・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例　大規模開発届出15件、中規模開発届出22件、小規模開発届出28件、景観重点区域内行為届92件 ・伝統的大工技術継承事業補助金24件 ・大規模盛土造成地の現地調査、優先度評価44箇所	
評価等	・各種基準の市民への周知や建築関係事業者等に対する指導、助言により、良好な居住環境の整備、歴史的な建造物や町並みの保存が図られた。 ・既存の大規模盛土に関する災害リスク情報等の把握により、住民の安心安全に備えることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・市民に対する各種基準の周知に加えて、建築関係事業者や宅建協会、行政書士会等に対する景観基準や開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会等の開催により、基準の順守や手続きの円滑化を促進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・大規模盛土造成地の防災対策に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74120　建築物耐震対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	耐震改修促進計画、過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
担当課	都市政策部　建築住宅課	内線	2318		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	1	都市計画総務費			施策分野	(3)	住宅・公園・景観		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・住宅や一定用途、規模以上の建築物に関して、耐震診断及び耐震改修工事に対する助成を実施し、地震に強い安全・安心なまちづくりを進める。	概要	・耐震診断に関する助成事業 木造住宅耐震診断委託、伝統構法木造建築物耐震診断に対する助成、建築物耐震診断（木造住宅以外）に対する助成、耐震義務化建築物耐震診断に対する助成 ・耐震改修工事に関する助成事業 木造住宅耐震改修工事に対する助成、伝統構法木造建築物耐震改修工事に対する助成、特定建築物の耐震改修に関する助成 ・耐震啓発に関する活動 市職員による相談会等の耐震啓発

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
住宅耐震化率（5年毎に調査：R5 約75%）	－		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		30,410	25,735	20,310			
特定財源	国費（　建築物耐震改修等事業費　1/3、1/2　）	8,950	8,553	6,250			
	県費（　建築物耐震化補強助成事業費　1/6、1/4　）	4,475	4,456	3,120			
	その他（　　）						
一般財源		16,985	12,726	10,940			
新規・拡充	主な事業内容						
	木造住宅の耐震診断	3,300	2,558	3,300			
○	建築物の耐震診断・耐震改修工事等に対する助成	27,100	23,170	17,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 16,900 増減 (d)-(c)
48,160			27,850
20,774			14,524
10,388			7,268
16,998			6,058

要求額	説明
3,300	
44,850	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・助成等件数 木造住宅耐震診断事業委託　31件 建築物耐震診断事業補助金　一般建築物　3件 〃　伝統構法木造建築物　5件 建築物耐震改修工事補助金　木造建築物　8件 〃　伝統構法木造建築物　2件 〃　耐震シェルター　1件 ・広報たかやまへ助成制度の掲載やホームページ、SNSを活用した情報発信	
評価等	・各種助成制度等により、建築物の耐震化を促進することができた。 ・耐震診断義務化建築物の安全対策への支援を行った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を主として、建築物の耐震化を促進するため、啓発活動を継続的に実施していく。 ・耐震診断実施が耐震改修工事につながるよう、啓発活動を行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・耐震診断義務化建築物の耐震診断に対する助成に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74125　空家等対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	空家等対策計画、過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント				
担当課	都市政策部　建築住宅課	内線	2337		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	1	都市計画総務費			施策分野	(3)	住宅・公園・景観		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・空家等の状況を把握し、適切に管理されていない空家等に対して、適切な管理を促すことで、地域住民の安全な生活環境を保全するとともに、空家等の活用を促進することで、住みやすいまちづくりを推進する。	概要	・高山市空家等対策協議会、高山市特定空家等審査会の運営 ・空家等の実態、所有者調査の実施 ・特定空家等や管理不全空家等の認定、指導、勧告、命令等の実施 ・空家に関する相談 ・老朽空家等の除却に対する支援 ・空家の活用方法の提案や流通促進を図る仕組みの構築

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		19,735	15,420	5,750			
特定財源	国費（　空家等対策事業費　1/2　）						
	県費（　空家等除却費支援事業費　1/3　）	1,666	1,486	1,660			
	その他（　　）						
一般財源		18,069	13,934	4,090			
新規・拡充	主な事業内容						
	特定空家等審査会	110	0	110			
	空家等相談会の開催	100	62	100			
	老朽空家等の除却に対する支援	5,000	2,973	5,000			
	空き家セミナーの開催	426	21	440			
	空き家対策パンフレットの作成	200	0				
	危険な空き倉庫の取得及び解体撤去	13,794	12,298				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			6,000
5,750			0
2,500			840
3,250			△ 840

要求額	説明
110	
100	
5,000	
440	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・空家等相談会の開催（4回、18組29名） ・老朽空家等の除却に対する助成（3件） ・広告事業により無償で空き家対策パンフレットを作成（3,000部） ・危険な空き倉庫の取得及び解体撤去（1件）	
評価等	・空家等相談会の開催により、空家に係る個別問題の解決に向けた対応が促進された。 ・老朽空家等の所有者への指導や助成制度周知により、老朽空家等が除却され、安全な生活環境の保全が図られた。 ・管理者のいない危険な空き倉庫を市が緊急的に取得して解体撤去を行い、安全な生活環境の保全が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・空家等対策計画に基づき、空家化の予防、適切な管理の促進及び管理不全の是正等を図る。 ・老朽空家等の除却及び空家等の利活用を推進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	74510　景観保全奨励事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	景観計画、歴史的風致維持向上計画、過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント				
担当課	都市政策部　建築住宅課	内線	2312		項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
					目	4	景観保全総務費			施策分野	(3)	住宅・公園・景観		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市街地景観保存区域における保存活動への支援や景観形成に資する事業への助成などにより、美しい景観の保全・創出を図る。	概要	・景観保存活動や美しい景観形成に資する修理・修景に対する助成の実施 市街地景観保存区域保存会補助金、市街地景観保存区域建造物修景事業補助金、景観重要建造物修景事業補助金、景観形成事業（塀等設置）補助金、高山の景観にふさわしい看板補助金

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「快適な住宅環境や公園、美しい景観が保たれている」と感じている市民の割合	63.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)−(a)
		20,340	5,910	38,590			
特定財源	国費（ まちなみ環境整備事業費 1/3　歴史的環境保全整備事業費 10/10 ）	5,230	1,410	9,830			
	県費（ 県移譲事務交付金 ）	30	30	30			
	その他（ 宿泊税 ）			9,870			
一般財源		15,080	4,470	18,860			
新規・拡充	主な事業内容						
	市街地景観保存会に対する助成	1,600	1,229	1,600			
	景観形成に対する助成	2,270	168	2,000			
	高山の景観にふさわしい看板の設置等に対する助成	1,800	214	14,800			
	景観重要建造物の修景等に対する助成	2,000	0	2,000			
	市街地景観保存区域建造物の修景等に対する助成	12,000	3,867	12,000			
○	夜間景観整備計画の策定						
	景観まちづくりの推進			5,280			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	33,400 増減 (d)−(c)
43,443			4,853
16,000			6,170
30			0
			△ 9,870
27,413			8,553

要求額	説明
1,475	
1,800	
14,800	既存不適格看板の是正に対する助成
5,000	
9,000	
10,260	
280	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・市街地景観保存区域保存会補助金　10件 ・景観重要建造物修景事業補助金　0件 ・市街地景観保存区域建造物修景事業補助金　2件 ・高山の景観にふさわしい看板補助金　4件 ・景観形成事業（塀等設置）補助金　1件 ・生け垣等設置補助金　0件 ・景観形成基準の見直しを実施	
評価等	・各種補助制度を活用した修理・修景事業等により、景観の保全や改善が図られた。 ・昨年度に引き続き、景観重要建造物については実施事業がなく、生け垣等設置についても申請がなかった。 ・市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用については、今後も改善を図るとともに、保存会活動が充実するよう調整に努める。	
次年度以降の考え方（担当課）	・景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用を推進する。 ・市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議を進める。 ・各種補助制度について、交付条件や対象範囲について見直しによる効果を検証する。 ・市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用について改善を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・夜間景観整備計画の策定に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	75100　市営住宅管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	市営住宅整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント				
担当課	都市政策部　建築住宅課	内線	2337		項	5	住宅費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	1	住宅管理費			施策分野	(3)	住宅・公園・景観		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・住宅に困窮する市民に対して、低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定を図る。 ・市営住宅の整備・改修を進め、居住者の生活環境の保全を図る。	概要	・入居者や入居希望者からの相談等への対応 ・債権管理条例を基にした滞納整理の実施 ・指定管理者と連携した市営住宅の維持管理 ・市営住宅整備計画に基づく計画的な整備工事の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		246,378	236,826	233,927			
特定財源	国費（　社会資本整備総合交付金 1/2　）			32,160			
	県費（　　）						
	その他（　公営住宅使用料、敷地占用料　等　）	227,734	234,059	153,301			
一般財源		18,644	2,767	48,466			
新規・拡充	主な事業内容						
	市営住宅の管理	37,150	37,143	37,560			
	三福寺団地借上料（債務負担）	53,973	53,973	53,973			
	施設整備	148,900	139,668	136,130			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 / 市長査定額	221,000 / 増減 (d)-(c)
226,440			△ 7,487
22,913			△ 9,247
150,919			△ 2,382
52,608			4,142
要求額	説明		
37,559	指定管理料		
53,973			
128,688			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・指定管理者との連携を密にした市営住宅の維持管理 ・赤保木団地屋根改修工事ほか整備工事の実施 ・家賃や駐車場使用料の滞納者及びその連帯保証人に対し、電話による催促や未納額を請求する文書の送付のほか、面談し直接交渉するなど、収納率の向上に向けた取り組みの実施	
評価等	・指定管理者との役割分担のもと、適正な維持管理を行うことができた。 ・滞納整理の強化（電話による督促、支所との連携）により、徴収目標を達成することができた。 ・地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。 ・滞納傾向にある居住者への早期指導や、連帯保証人への連絡による納付依頼の実施等、滞納整理の強化が必要である。 ・高額滞納者に対しては法的措置も含めた厳正な対応が必要である。	
次年度以降の考え方（担当課）	・指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。 ・地域の実情に合わせた配置の適正化を検討する。 ・債権管理条例に基づき、滞納整理の強化を図る。 ・市営住宅整備計画に基づき、市営住宅の適正配置を進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・市営住宅整備計画に基づく施設整備に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	